

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 14

2015年10月19日発行

10月の聖句「いつも喜んでいなさい」

(新約聖書 テサロニケの信徒への手紙 5章 16節)

「大人はニコニコマークでいきましょう」



園長 菊地和子

今月の聖句は、私も昔から大好きなことばでした。

シェークスピアだったかな？この世で一番いい女の条件は「機嫌のいい女」だと言っていたのは？でも女に限った話じゃありませんよね？男でも女でも、にぎやかな人も静かな人も、『明るい』気持ちの人は最強ですからね。

『いつも感謝している』『いつも喜んで生きている』人はぐらつきません。これはキリスト教精神のとても大事なスタンスなんです。

キリスト教徒でなくても、こんな大人が家庭にいると子どもは安心した気持ちで生活できます。最近、激増している虐待のある家庭では、大人の機嫌の良し悪しにビクビクしながら、子ども達はどんなに恐ろしい不安定な気持ちで生活しているのだろうと想像します。

私の育った家庭には、とっても朗らかな父親がいたので、心配性の母も5人の子ども達も安心して幸せに過ごすことができました。父は小6で父親を亡くしてからずっと家族を養うために働き続けてきた苦労人です。成長期でも食料がない時代。土木作業の募集に朝一番から並んでいても、小柄な子どもは選んでもらえず悔しい思いをしたり、働ける日は昼にもらう粗末な握り飯をそっとポケットにしまい、幼い弟たちに持って帰ったりしたそうです。たぶん私たちに話していない苦労もまだまだたくさんあったでしょう。だからこそ、健康で仕事に打ち込めて、家族仲良く暮らせることを喜び、感謝していたのかな、と思います。そして、聖書の教えに触れてから一層、強く明るい心を持ち、日常のささいなもめ事や不安にはまったく動じず朗らかだったのかな、と思います。

そんな父ももう80歳も半ばに差し掛かっていますが、いまだに現役テラーとして札幌駅北口に店を構え、喜びながら働いています。お店の名前はプレイ(祈り)です。(宣伝！)

自分も日常の幸せに感謝し、喜んで生きていきたいです。疲れたときや苦しいときこそ、それができたらいいなあ、と思っています。なかなかできない事ですが、とくに子どものそばにいる大人はみんな、そうなれたらいいですね。

年長さん、薬岩山を制覇！！

聖十字の子ども達も、毎日喜んで過ごしています！！

大喜びのリンゴ狩り！



けっこう大変な道のりでした。最後に到着したYくん喜びの声を忘れられません。

夏に登った円山が近く見えました。

リンゴはいろんなご馳走に変身！



たくさんリンゴがなっています。各クラスでリンゴ入りのパンケーキなどを作りました。

晴天のもとマラソン大会！

平日にも関わらず応援ありがとうございました。まさにお天の中、ニコニコ走る子どもたちの姿から



りんご、落ち葉、キラキラ無風、晴天……「やりますか」「やりますか」先生方のタイムリ-な判断で、楽しみりんごパーティがスタート。落ち葉を掃く。運び子、みんな大忙し。「あっつい!!」「おいしい!!」ふたんモジモジはあかしがりやさんもちゃんと「ちょうだい!!」って言えましたよ。

職場体験

園にはたくさんの職場体験や実習生の学生さんたちが来てくれます。

最近では、実習生の希夢(のぞむ)先生、そして緑中学校から前田君、松井さん、作井さんの3人が子どもたちと楽しく過ごしてくれました。中学生が最終日のあいさつで、「小さい時通っていて、大好きな幼稚園。先生たちが周りの子どものことを考えて一生懸命やっているのがわかりました。自分は少し諦めてしまうところがあるけど、先生方の仕事を見て、もう少し頑張ろうと思いました」「まとめるのはうまくないけど、とにかく一言でいうと『すごいハード』!!だから先生方、頑張ってください!!」など、ジーンとくる言葉をもらいました。受け入れには大変な仕事も増えるけど、それ以上にたくさんの喜びをもらっている先生方です。